

書名	著者	出版者	出版年	資料コード
クリムト 官能の世界へ	クリムト/[画]	KADOKAWA	2018	
西洋近代の都市と芸術 4 ウィーン		竹林舎	2016	1110821376
絵のなかの物語 文学者が絵を読むとは	庄司 宏子/編著	法政大学出版局	2013	1110317318
クリムト作品集	クリムト/[画]	東京美術	2013	1110334123
クリムト黄金の騎士をめぐる物語	クリムト/[ほか画]	中日新聞社	2012	1110272331
クリムトの世界	クリムト/[画]	新人物往来社	2011	1108783935
詩ふたつ	長田 弘/著、クリムト/[画]	クレヨンハウス	2010	1108891837
グスタフ・クリムト 女たちを描いた画家 (岩波アート・ライブラリー)	グスタフ・クリムト/[画]	岩波書店	2009	1108849926
グスタフ・クリムト ドローイング水彩画作品集	グスタフ・クリムト/[画]	新潮社	2007	1108412303
池内紀の仕事場 1 世紀末の肖像	池内 紀/[著]	みすず書房	2004	1108213479
グスタフ・クリムト (タッシェン・ニュー・ベーシック・アート・シリーズ)	ジル・ネレー/著	タッシェン・ジャパン	2000	1106001835
グスタフ・クリムト素描と絵画	クリスティアン・M・ネベハイ/著	岩崎芸術社	1998	1101890760
図説クリムトとウィーン美術散歩	南川 三治郎/著	河出書房新社	1998	1101841789
パパ、美術館へ行こう 第2巻 (親子で文化を旅するシリーズ)	結城 昌子/編・著	小池書院	1997	1300063359
クリムト (岩波世界の巨匠)	フランソワーズ・デュクロ/[著]	岩波書店	1994	1100281300
グスタフ・クリムト	[グスタフ・クリムト/画]	メルヘン社	1989	1100281128
アール・ヌーヴォーの世界 3 クリムトとウィーン		学研	1987	1100135332
世紀末ウィーンを歩く (とんぼの本)	池内 紀/著	新潮社	1987	1106326851
クリムトのデッサン (双書美術の泉 65)	[クリムト/著]	岩崎美術社	1986	1100254737
現代世界の美術 7 クリムト	中山 公男/[ほか]編集委員	集英社	1985	1100758158
クリムト	C.M.ネーベハイ/著	美術公論社	1985	1100789088
クリムト展	[クリムト/画]	東京新聞	1981	1107202275
クリムト (新潮美術文庫 37)	クリムト/画	新潮社	1979	1107470815
NHK日曜美術館 第4集		学研	1977	1107594044

■ 国立国会図書館デジタルコレクション【図書館送信サービス】

タイトル	著者	永続的識別子	出版年
絵画は踊る クリムト	萬牽也	info:ndljp/pid/1855583	1999
グスタフ・クリムトの絵画空間について	原沢暁子	info:ndljp/pid/7967816	1997
<所蔵作品研究> グスタフ・クリムト作<<人生は戦いなり>>一様式が含意するものをめぐって	栗田秀法	info:ndljp/pid/4428239	1994
クリムトと日本の文様(22)ジャポニスムの系譜	ジークフリート・ピッツヒマン 篠田雄次郎	info:ndljp/pid/2262044	1986
美のフィールドワーク(4)クリムトの「ダナエ」のこと	橋口 収	info:ndljp/pid/2682264	1979
昨日のグスタフ--マーラーとクリムトのこと	黒田 恭一	info:ndljp/pid/2204671	1973



Gustav Klimt

没後100年

クリムト

関連所蔵リスト

- ◆ 図書・雑誌 【展示期間 3/23~5/23】
- ◆ 国立国会図書館デジタルコレクション (図書館送信サービス)

第 57 回図書館活用講座

◆ DVD 上映会

「世紀末からのメッセージ ギュスターブ・モロー/クリムト」

4/21(土) 午後 2:00~2:30

場所: 府立図書館 3 階マルチメディア室

事前申込不要(先着 30 名)

参加費: 無料

雑誌記事一覧

(このリストの雑誌は、地下カウンターで出納依頼してください。館内閲覧)

「クリムト！」の「クリムト！」たる由縁は、きっとあの金色や、幾何学的な模様だと思っていた。だが、女性なのだ気づいた。

西 加奈子

「クリムトの部屋」(「ユリイカ」45巻4号所収)

「大きなポプラ」の構図や、背景の空のおどろおどろしい雲行きなどにも、クリムトの装飾主義の特徴はよく現れているような気がする。なにかこう、全体が渦巻いているような感じがしないだろうか。

澁澤 龍彦

『西欧芸術論集成』(河出文庫)

タイトル	著者	雑誌、巻号	出版年月
特集プレミアム企画 2018年はウィーン世紀末芸術メモリアル・イヤー ワーグナー、クリムト、モーザー、シーレ なんとることよ、4人そろって没後100年	無記名	芸術新潮,68/12	2017年12月
クリムト、シーレ没後100周年 ウィーン世紀末芸術に出会う旅	無記名	美術手帖,69/1059	2017年9月
月は東に日は西に：俳句と西洋芸術(16)グスタフ・クリムト 画家	穂矢 まりえ	俳壇33(10)	2016年9月
特別読物 遺稿 丸谷オー「クリムト論」(未完)	無記名	芸術新潮,64(4)	2013年4月
クリムトの謎	池内 紀	ユリイカ,45(4)	2013年3月
装飾的ということ：ロースと分離派の周辺	高橋 麻帆	ユリイカ,45(4)	2013年3月
対談 幸運なる世紀末：装飾の錬金術師の肖像	池内 紀、原田 マハ	ユリイカ,45(4)	2013年3月
クリムトのファルス	横尾 忠則	ユリイカ,45(4)	2013年3月
切断される四肢、あるいは世紀末のウィーン	阿部 賢一	ユリイカ,45(4)	2013年3月
インタビュー 黄金の還る場所	天野 喜孝	ユリイカ,45(4)	2013年3月
クリムトと黄金の「親地学」	鶴岡 真弓	ユリイカ,45(4)	2013年3月
魂の描線：世紀末芸術と未来派	阿部 真弓	ユリイカ,45(4)	2013年3月
美術史への接線：クリムト作、ウィーン美術史美術館装飾壁画	安永 麻里絵	ユリイカ,45(4)	2013年3月
Der Zeit ihre Kunst, der Kunst ihre Freiheit(時代にはその時代の芸術を、芸術にはしかるべき自由を)：クリムト主要作品解題	西田 兼	ユリイカ,45(4)	2013年3月
クリムトの顔：異形の美を支えるもの	山口 晃	ユリイカ,45(4)	2013年3月
クリムトの部屋	西 加奈子	ユリイカ,45(4)	2013年3月
きらめく装飾、うごめく背景：クリムトとアニメーションの邂逅	神戸 守、高瀬 司	ユリイカ,45(4)	2013年3月
空虚なクリムト	石光 泰夫	ユリイカ,45(4)	2013年3月
私の死でいっぱい袋：クリムト的主体について	西川 アサキ	ユリイカ,45(4)	2013年3月
ウィーンという舞台装置	湯澤 幸一郎	ユリイカ,45(4)	2013年3月
衣服からクリムトを読む	朝倉 三枝	ユリイカ,45(4)	2013年3月
浮薄なる様式：クリムトのスタイル/モード	古川 真宏	ユリイカ,45(4)	2013年3月
女を磨く旅 爛熟の“世紀末”を感じて クリムトが愛した街ウィーンを歩く	無記名	婦人公論,97(4)	2012年2月
音楽と絵画：マーラーとクリムト(第1～12回)	倉林靖	音楽現代,477～488	2011年1月
ミュシャとクリムト	千足伸行	ユリイカ,570	2009年9月
シネマ館 クリムト	副島隆彦	エコノミスト,3844	2006年8月29日
第1章 出世街道からドロップアウト～第5章 色彩爆発時代	木島俊介	芸術新潮,682	2006年10月
英米法研究(第34回)ナチス、クリムト、主権免除(米国連邦最高裁判所2004.6.7判決)	弘中聡浩	法律のひろば,58(10)	2005年10月
服装デザインから見たクリムトの服飾表現	飯塚弘子	日本服飾学会誌,16	1997年
英雄の変容—グスタフ・クリムト「ベートーヴェン・フリーズ」について	水沢 勉	ユリイカ,19(8)	1987年7月
愛するエミーリエ……クリムトの手紙	池内 紀	ユリイカ,19(8)	1987年7月
クリムトの虚無とシーレの無防備な感性(シーレとウィーン〈特集〉)	林 太郎	美術手帖,558	1986年3月
20世紀への扉・美術編—反伝統の画家・クリムト	無記名	芸術新潮,36(10)	1985年10月
背中あわせの衣裳(クリムト)と裸体(シーレ)	黒井 千次	芸術新潮,36(4)	1985年4月
世紀末のパンクな2人クリムト、シーレ来たる〈アート・ニュース特集〉	無記名	芸術新潮,36(4)	1985年4月
グスタフ・クリムト—世紀末のスフィンクス	斉藤 泰嘉	美術手帖,477	1981年2月
『グスタフクリムト』『パウラモーダーゾーン=ベッカーの素描』	佐藤元子	朝日ジャーナル, 20(1)(987)	1978年

◆**グスタフ・クリムト (1862～1918)** オーストリアの画家。ウィーンで装飾的な壁画や天井画を描き象徴的な官能美を追求して、ユーゲントシュティール(アールヌーボー)の代表的存在の一人と目された。作品「女の三世代」「接吻」など。 —『日本国語大辞典』—